

平成26年7月22日
国土交通省九州地方整備局
八代河川国道事務所
川辺川ダム砂防事務所

平成25年 球磨川の水質現況 ～川辺川は日本一きれいな川でした～

○球磨川流域の水質

国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所及び川辺川ダム砂防事務所では、直轄管理区間（延長118.3km）の14地点において、定期的（原則として月1回）に水質調査を実施しています。

今回、平成25年の水質調査結果の概要をとりまとめたのでお知らせします。

〈環境基準の達成状況〉

- ・有機汚濁の代表的な指標であるBOD値は全地点とも環境基準を満足する結果でした。
- ・年間の平均的な水質（BOD値）が最も良好な地点（報告下限値の0.5mg/Lである地点）は、九州の一級河川における調査地点（149地点）のうち14地点あり、その内8地点が球磨川（2地点）と川辺川（6地点）でした。
- ・平均的な水質（BOD値）が最も良好な河川は全国で10河川あり、その1河川が川辺川でした。
- ・平成24年から見た水質の状況は、全地点で大きな変化はなく良好な状態でした。

〈地元の小・中学生と共に水生生物調査による簡易水質調査〉

- ・球磨川の中川原公園、球磨大橋、川辺川の権現橋及び中園川、油谷川合流前の5地点で実施しました。
- ・球磨川流域の小学校3校と事務所職員で実施し、5地点とも「きれいな水」と判定されました。

〈新しい水質指標による住民との協働調査〉

- ・従来のBODなどの指標とは異なり、ゴミの量や水のおいなど、人と河川のふれあいに関する新しい指標を用いて、住民との協働により、河川に近づきやすい地点（5地点）で調査を実施しました。
- ・川辺川の権現橋及び中園川合流前では「顔を川の水につけやすい（泳ぎたいと思うきれいな水）」、球磨川の中川原公園、球磨大橋及び油谷川合流前は「川の中に入って遊びやすい」と判定されました。

〈水質事故の発生状況〉

- ・平成25年の水質事故はありませんでした。

*九州地方整備局HPにて毎月の水質データ（速報値）を公表。

HPアドレス http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/suisitunew/sui_kuma.html

お問い合わせ先

- ・球磨川に関する事項
国土交通省九州地方整備局 八代河川国道事務所 河川環境課長 工藤 勝次
TEL：0965-32-7134
- ・川辺川に関する事項
国土交通省九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所 調査課長 江口 秀典
TEL：0966-23-3174

1. 水質調査地点

平成25年は球磨川、川辺川、前川の下図の地点で水質調査を実施しています。

球磨川

流域面積 1,880km²
 幹線流路延長 115km
 流域内人口 約140千人

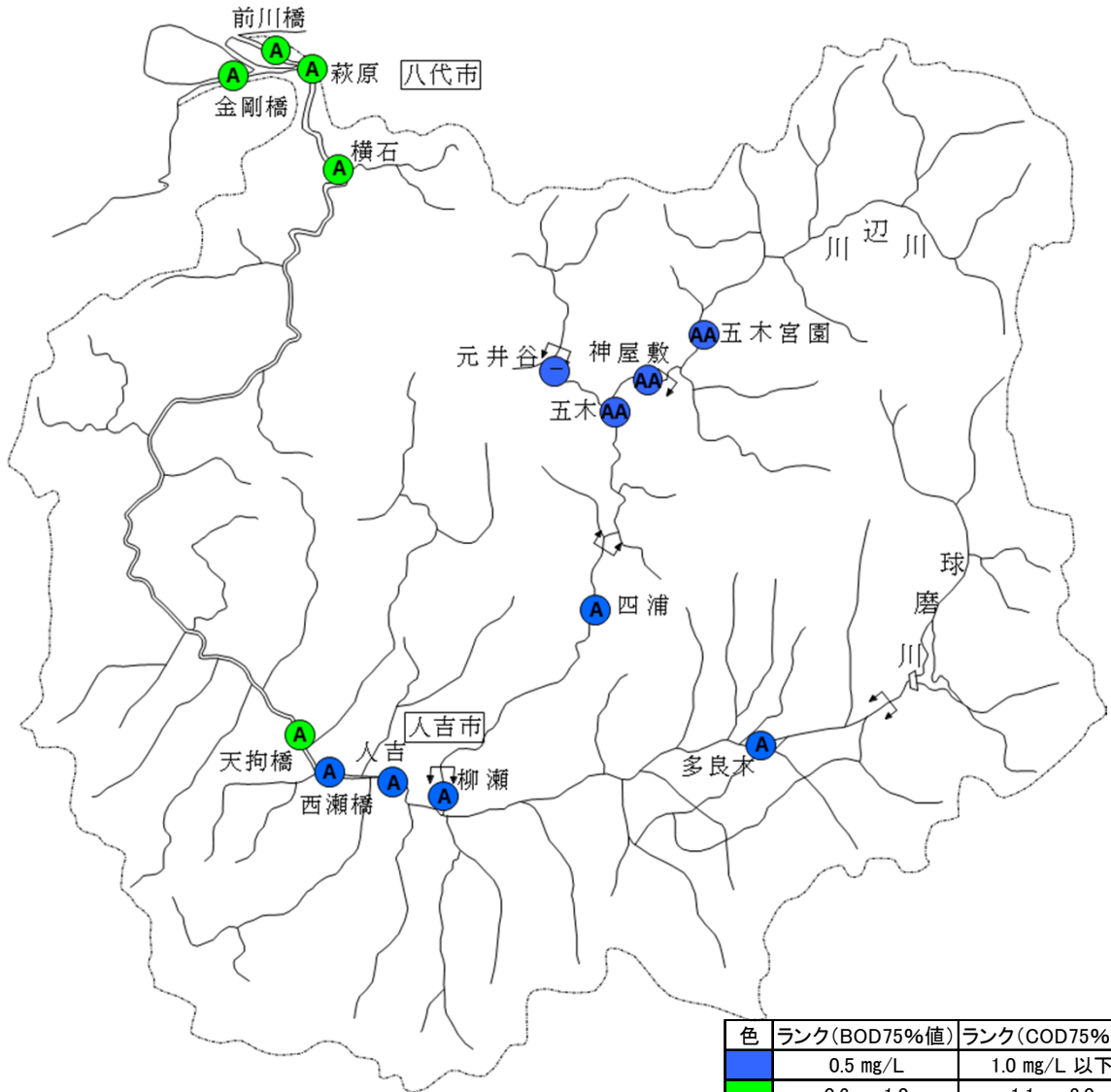


図-1 球磨川、川辺川の水質調査地点

■水質用語の説明

• BOD値 (biochemical oxygen demand : 生物化学的酸素要求量)

水中の比較的分解されやすい有機物が、DOの存在のもとに好気性微生物によって酸化分解されるときに消費される酸素の量で、通常20℃で5日間暗所で培養したときの消費量 (BOD) をさします。

• BOD75%値

BODの環境基準の満足状況は 公共用水域が通常の状態 (河川にあっては低水流量以上流量) にあるときの測定値によって判断することになってますが、低水流量の把握は非常に困難であるため、測定された年間データのうち75%以上のデータが基準値を満足することをもって環境基準に適合しているとみなすことになっています。

すなわち、1年間に測定された日平均値の全データを小さいものから順に並べ、0.75×N番目 (Nはデータ数) のデータ値を環境基準値と比較して、適合、不適合の判断をします。

| 色 | ランク(BOD75%値) | ランク(COD75%値) |
|---|--------------|--------------|
| 青 | 0.5 mg/L | 1.0 mg/L 以下 |
| 緑 | 0.6 ~ 1.0 | 1.1 ~ 3.0 |
| 黄 | 1.1 ~ 2.0 | 3.1 ~ 5.0 |
| 橙 | 2.1 ~ 3.0 | 5.1 ~ 8.0 |
| 赤 | 3.1 ~ 5.0 | 8.1以上 |

| 類型 | 河川 (BOD) | 湖沼 (COD) |
|----|--------------|-------------|
| AA | 1.0 mg/L 以下 | 1.0 mg/L 以下 |
| A | 2.0 mg/L 以下 | 3.0 mg/L 以下 |
| B | 3.0 mg/L 以下 | 5.0 mg/L 以下 |
| C | 5.0 mg/L 以下 | 8.0 mg/L 以下 |
| D | 8.0 mg/L 以下 | |
| E | 10.0 mg/L 以下 | |
| - | 類型未指定 | |

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。
- 数字は別表に示す調査地点である。

2. 平成25年 球磨川の水質現況（要旨）

2-1 水質調査地点

八代河川国道事務所では、球磨川の下記8地点で、定期的に水質調査を行っています。

【球磨川：多良木、人吉、西瀬橋、天狗橋、横石、萩原、金剛橋】

【派川前川：前川橋】

2-2 水質調査結果

◎BOD（生物化学的酸素要求量）

平成25年の各地点の水質は各地点で良好で、近年（10カ年）の水質も良好です。

（表-1、図-2、図-3参照）。

◎環境基準値の満足状況

BOD75%値で見ると、**全ての調査地点で環境基準を満たしています。**

平成24年と比較するとBOD平均値及び75%値は、大きな変化はありません。

表-1 球磨川及び前川におけるBOD値（mg/L）

| 河川名 | 地点名 | 類型 | 平成24年 | | 平成25年 | |
|-----|-----|----|-------|------|-------|------|
| | | | 平均値 | 75%値 | 平均値 | 75%値 |
| 球磨川 | 多良木 | A | 0.5 | 0.5 | 0.5 | <0.5 |
| | 人吉 | A | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 |
| | 西瀬橋 | A | 0.5 | 0.6 | 0.6 | 0.5 |
| | 天狗橋 | A | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 0.6 |
| | 横石 | A | 0.6 | 0.7 | 0.6 | 0.7 |
| | 萩原橋 | A | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.7 |
| | 金剛橋 | A | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.9 |
| 前川 | 前川橋 | A | 0.7 | 0.8 | 0.7 | 0.9 |

| 基準値 | |
|-----|-----------------|
| 類型 | 生物化学的酸素要求量(BOD) |
| AA | 1mg/L以下 |
| A | 2mg/L以下 |
| B | 3mg/L以下 |

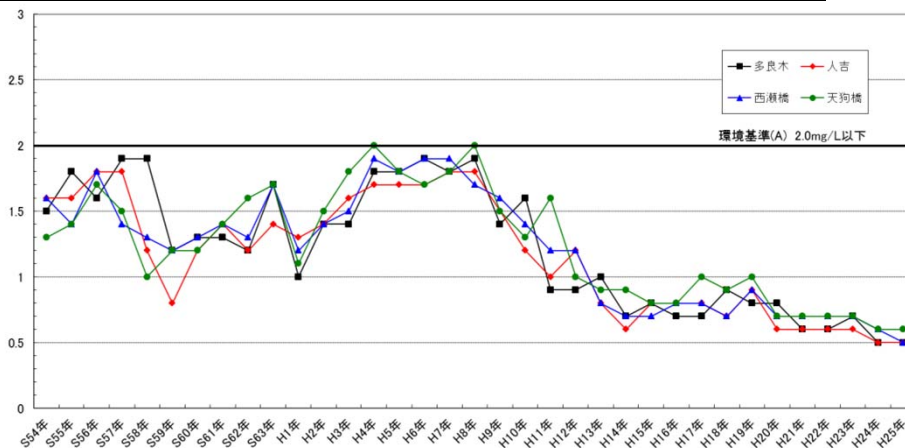


図-2 球磨川上流における水質の変化 水質経年変化図（BOD75%値）

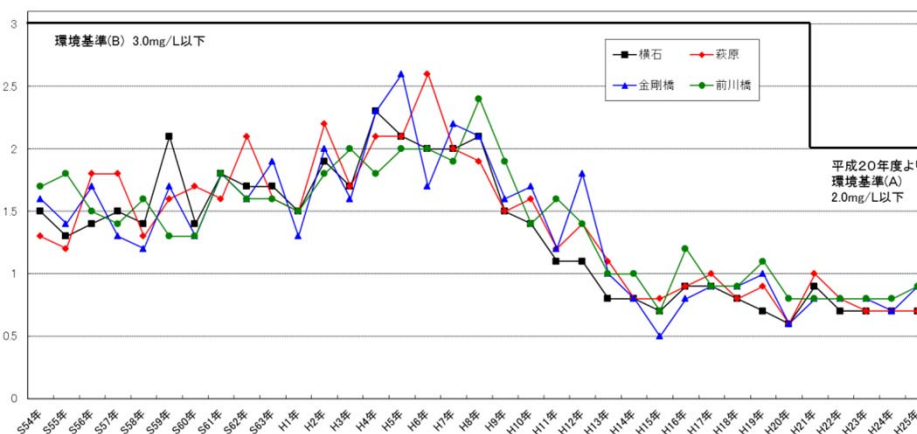


図-3 球磨川下流における水質の変化 水質経年変化図（BOD75%値）

3. 平成25年 川辺川の水質現況（要旨）

3-1. 水質調査地点

川辺川ダム砂防事務所では、川辺川の下記6地点で、定期的に水質調査を行っています。

【川辺川：五木宮園、神屋敷、五木、四浦、柳瀬】

【支川五木小川：元井谷】

3-2. 水質調査結果

◎BOD（生物化学的酸素要求量）

平成25年の各地点の水質は各地点で良好で、近年（10ヵ年）の水質も良好です。

（表-2、図-4参照）。

◎環境基準値の満足状況

BOD75%値で見ると、**全ての調査地点で環境基準を満たしています。**

平成24年と比較するとBOD平均値及び75%値は、大きな変化はありません。

表-2 川辺川及び五木小川におけるBOD値（mg/L）

| 河川名 | 地点名 | 類型 | 平成24年 | | 平成25年 | |
|-------------|------|----|-------|------|-------|------|
| | | | 平均値 | 75%値 | 平均値 | 75%値 |
| 川 辺 川 | 五木宮園 | AA | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 |
| | 神屋敷 | AA | 0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 |
| | 五木 | AA | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 |
| | 四浦 | A | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 |
| | 柳瀬 | A | 0.6 | <0.5 | <0.5 | <0.5 |
| 五木小川 | 元井谷 | — | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 |

| 基準値 | |
|-----|-----------------|
| 類型 | 生物化学的酸素要求量(BOD) |
| AA | 1mg/L以下 |
| A | 2mg/L以下 |
| B | 3mg/L以下 |

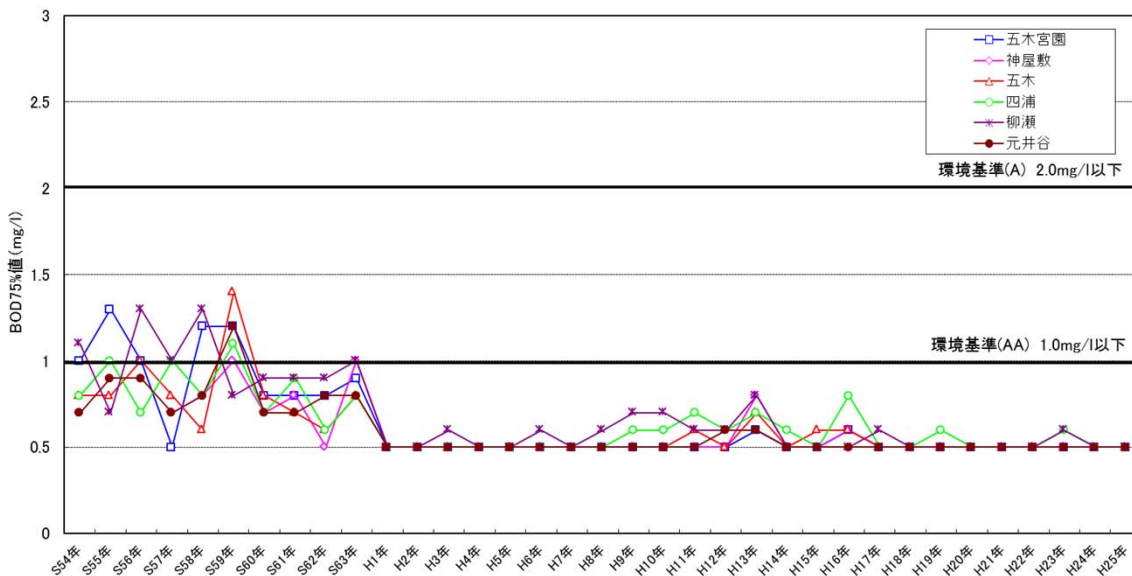


図-4 川辺川における水質の変化 水質経年変化図（BOD75%値）

4. 地元の小中学生と共に水生生物調査による簡易水質調査を実施

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうため、国土交通省では、昭和59年から水生生物調査による簡易な水質調査を実施しています。これは球磨川流域の小中学生に協力してもらい球磨川の水生生物調査を行い、「きれいな水」「ややきれいな水」「きたない水」「とてもきたない水」の4段階で水質を評価するものです。

平成25年は、球磨川流域の小学校3校と八代河川国道事務所職員の参加により、球磨川の中川原公園、球磨大橋上流、油谷川合流前、中園川合流前及び川辺川の権現橋の合計5地点での調査を実施しました。

その結果、**5地点とも「きれいな水」と判定されました。**

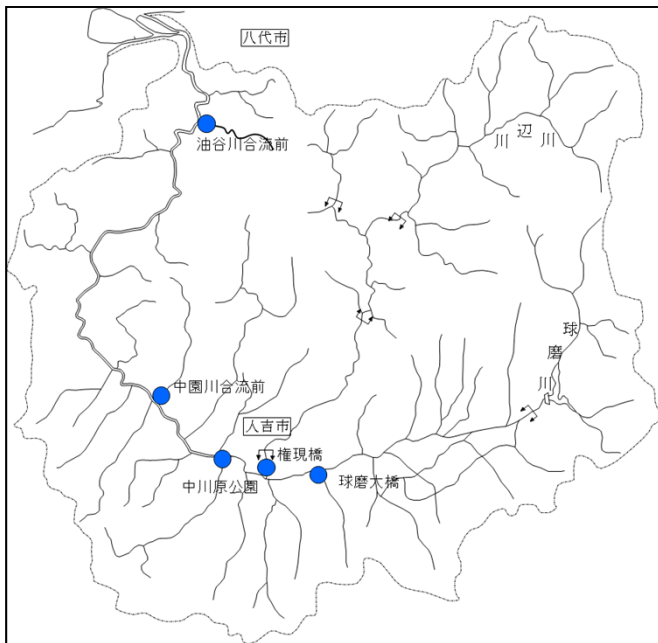


図-5 簡易水質調査実施地点

【相良南小学校による調査の状況】



【一勝地小学校による調査の状況】



【八竜小学校による調査の状況】



5. 新しい水質指標による住民との協働調査を実施

河川の水質管理指標は、住民にわかりやすいものである必要があり、平成17年より河川の水質を有機性汚濁指標（BOD等）による評価だけでなく、「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」といった住民の視点に立った評価（新しい水質指標による評価）も実施しています。

この新しい水質指標には、河川管理者がこれまで測定してきた項目だけでなく、「川底の感触」や「水のおい」等の“住民との協働”による調査も測定項目として加えています。

5-1. 人と河川の豊かなふれあいの確保

川への近づきやすさの目安となる「ゴミの量」「透視度」「川底の感触」「水のおい」「糞便性大腸菌群数」の5つの評価項目についてA~Dの4ランクで評価し、最も低く判定された項目のランクをその地点の評価とします。

平成25年は、球磨川水系で5地点で協働調査を行い、**調査結果は、球磨川の中園川合流前と川辺川の権現橋地点が「顔を川の水につけやすい」（Aランク）と判定され、球磨川の油谷川合流前、中川原公園及び球磨大橋上流が「川の中に入って遊びやすい」（Bランク）と判定されました。**

なお、本調査の評価項目である「ゴミの量」「川底の感触」「水のおい」は、測定者の感じ方によって測定結果が異なることがあります。

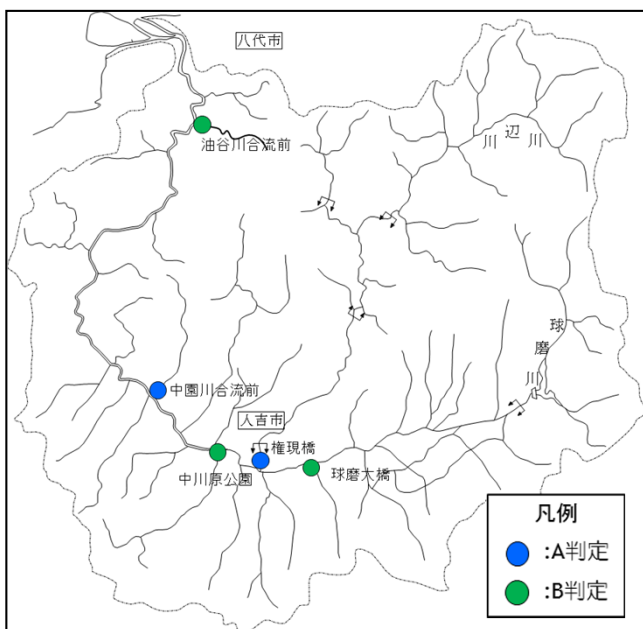
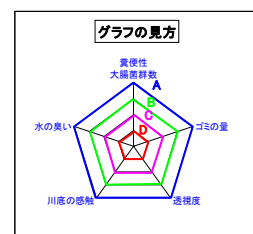
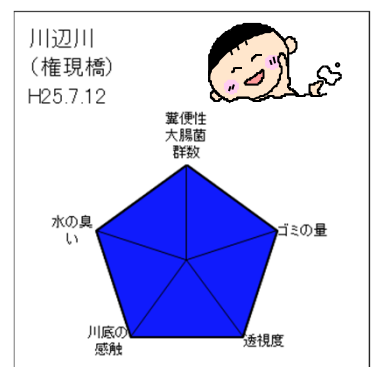
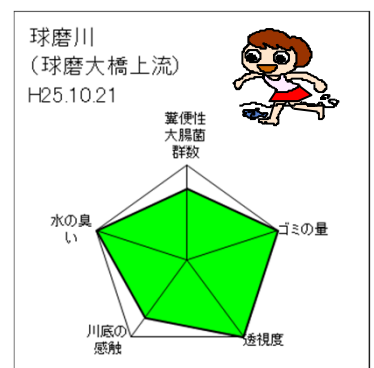
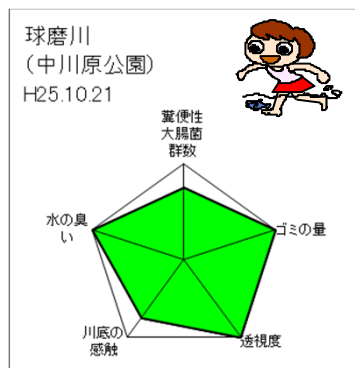
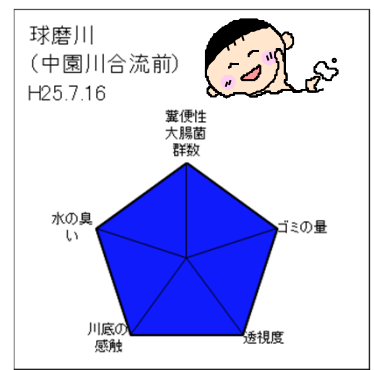
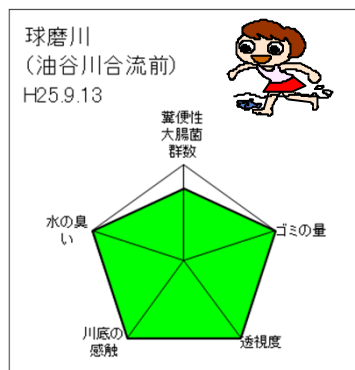


図-6 調査地点位置図



測定した評価項目のうち全ての評価項目がAランクの場合、「泳ぎたいと思うきれいな川」と判定

| ランク | 説明 | ランクのイメージ | 評価項目と評価レベル ^{※1)} | | | | |
|-----|------------------------|----------|------------------------------------|----------------------|-----------------------|---|--------------------|
| | | | ゴミの量 | 透視度 (cm) | 川底の感触 ^{※3)} | 水のおい | 糞便性大腸菌群数 (個/100mL) |
| A | 顔を川の水につけやすい | | 川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない | 100以上 ^{※2)} | 不快感がない | 不快でない | 100以下 |
| B | 川の中に入って遊びやすい | | 川の中や水際にゴミが目につくが、我慢できる | 70以上 | ところどころヌルヌルしているが、不快でない | 不快でない | 1000以下 |
| C | 川の中には入れないが、川に近づくことができる | | 川の中や水際にゴミがあつて不快である | 30以上 | ヌルヌルしており不快である | 水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる | 1000を超えるもの |
| D | 川の水に魅力がなく、川に近づきにくい | | 川の中や水際にゴミがあつてとても不快である | 30未満 | | 風下の水際に立つと、とても不快な臭いを感じる | |

※1) 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、住民による感覚調査等を実施し、設定することが望ましい。

※2) 実際には100cmを超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の開発が望まれる。

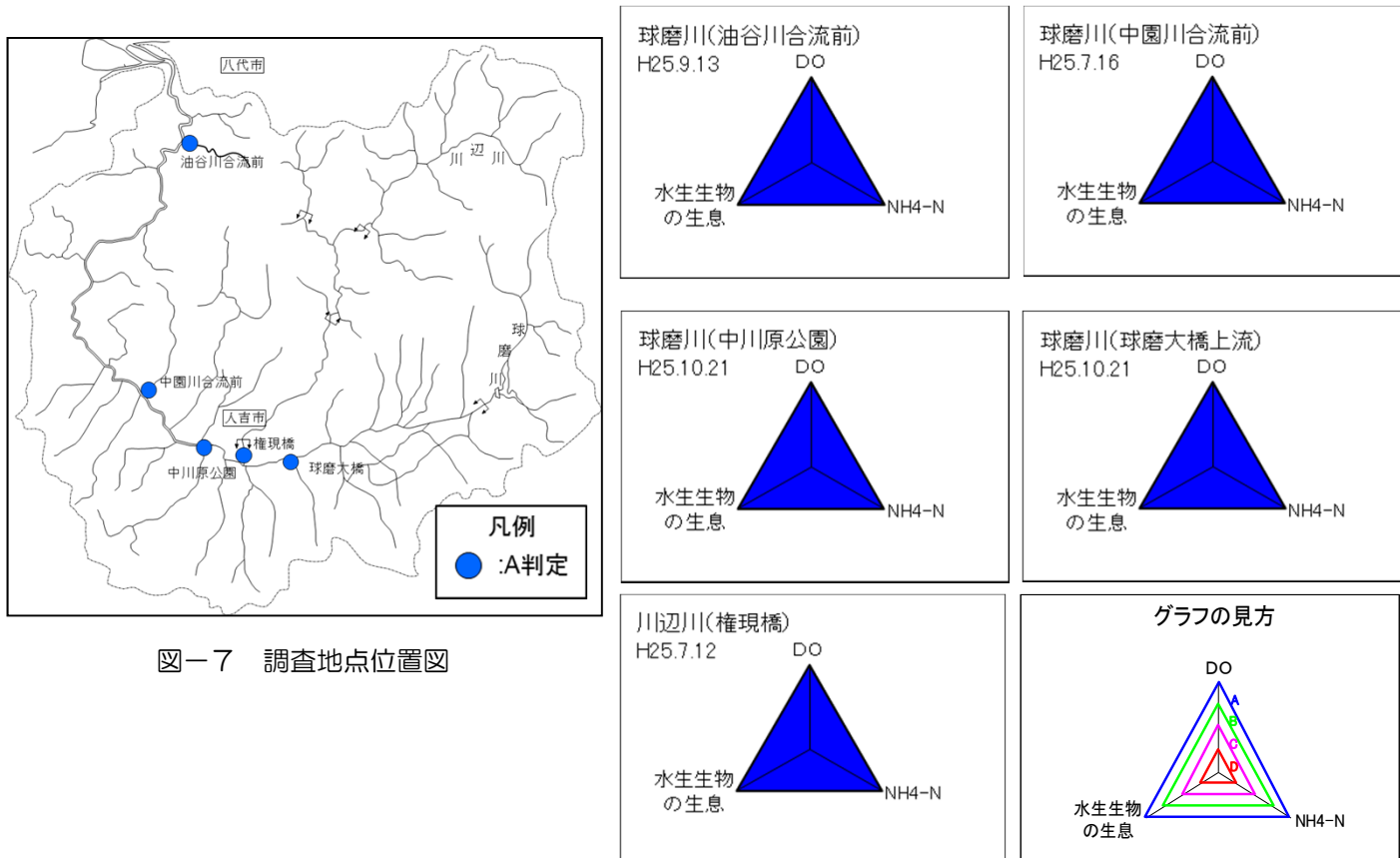
※3) 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。そのため、川底の感触は、ダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

5. 新しい水質指標による住民との協働調査を実施

5-2. 豊かな生態系の確保

生物の生息・生育・繁殖環境として好ましいかの目安となる「溶存酸素(DO)」、「アンモニウム態窒素(NH₄-N)」、「水生生物調査」の3つの評価項目についてA~Dの4ランクで評価し、最も低く判定された項目のランクをその地点の評価とします。

平成25年は、球磨川水系では5地点（球磨川の油谷川合流前、中園川合流前、中川原公園及び球磨大橋上流と川辺川の権現橋地点）で協働調査を行い、**調査結果は、5地点とも生物の生息・生育・繁殖環境として「非常に良好」（Aランク）と判定されました。**



| ランク | 説明 | 評価項目と評価レベル | | |
|--------|--------------------------|--------------|------------------------------|---|
| | | DO (mg/L) | NH ₄ -N (mg/L) | 水生生物の生息 |
| A ● | 生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好 | 7以上 | 0.2以下 | I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等 |
| B ● | 生物の生息・生育・繁殖環境として良好 | 5以上 | 0.5以下 | II. ややきれいな水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等 |
| C ● | 生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない | 3以上 | 2.0以下 | III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等 |
| D ● | 生物が生息・生育・繁殖しにくい | 3未満 | 2.0を超えるもの | IV. とてもきたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等 |

5. 新しい水質指標による住民との協働調査を実施

5-3. 利用しやすい水質の確保

水道用水への利用（安全性、臭い、維持管理のしやすさ）の目安となる「トリハロメタン」「2-MIB」「ジオスミン」「NH4-N」の4つの評価項目についてA～Cのランクで評価し、最も低く判定された項目のランクをその地点の評価とします。同一地点で複数回の調査を行っている場合は、通年の95%値をその地点の年間評価とします。

平成25年は、球磨川では横石地点で4回の調査を実施し、調査結果としては、**水道用水を利用するのに「より利用しやすい」（Aランク）と判定されました。**

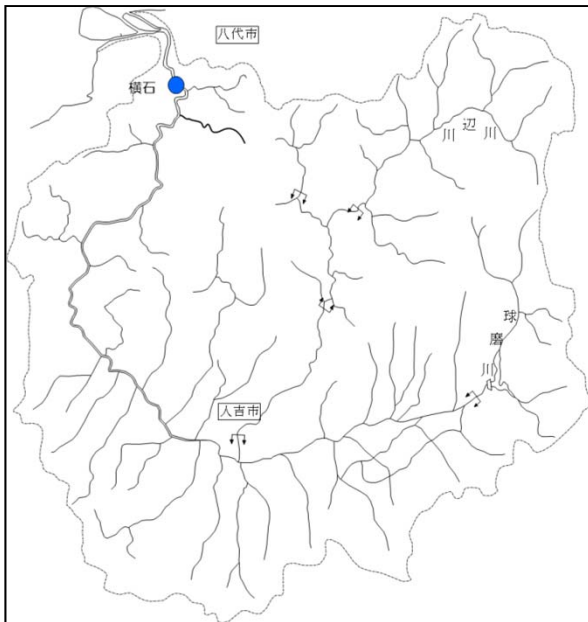
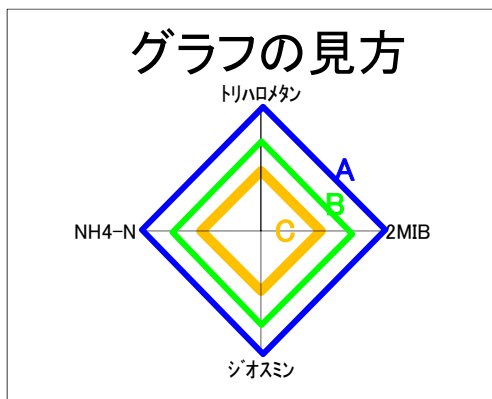
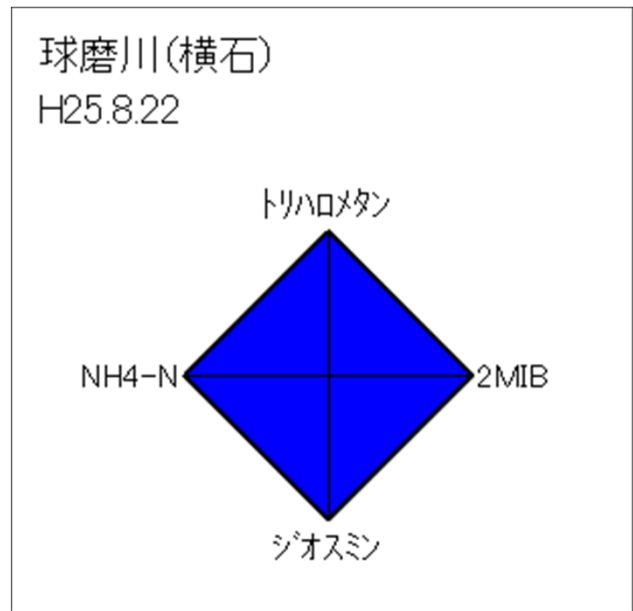


図-8 調査地点位置図



| 凡例 | |
|------------|--------------------|
| ● (Blue) | A より利用しやすい |
| ● (Green) | B 利用しやすい |
| ● (Orange) | C 利用するためには高度な処理が必要 |

6. 水質事故等の発生状況

平成25年に水質事故はありませんでした。

※球磨川水質汚濁対策連絡協議会の活動

水質事故はその発生が予見しにくく、また発生した場合は、初期段階における迅速な対応が被害拡大の防止につながることから、関係機関と河川管理者との協力とスムーズな情報交換が不可欠なものです。

球磨川では、他の一級河川と同様に、国土交通省と関係機関とが一体となり、球磨川水質汚濁対策連絡協議会を設置し、水質事故に対処しているところです。

また、河川清掃等の活動を後援し、河川の水質保全に努めるとともに、水質浄化の広報活動を行っているところです。

平成25年の主な活動内容

- 5月 球磨川水質汚濁対策連絡協議会委員会・幹事会
- 11月 水質事故対策技術講習会（雨天中止）



球磨川水質汚濁対策連絡協議会 実施状況

(参考資料)

九州地方一級河川の全地点の水質

1. 九州地方一級河川の全地点の水質

| (河川) | | | | BOD(mg/l) | | | (河川) | | | | BOD(mg/l) | | |
|------|------|------|-------|-----------|-----|------|------|-----|------|-------|-----------|------|------|
| 番号 | 水系名 | 河川名 | 地点名 | 平成25年 | | | 番号 | 水系名 | 河川名 | 地点名 | 平成25年 | | |
| | | | | 類型 | 平均値 | 75%値 | | | | | 類型 | 平均値 | 75%値 |
| 1 | 遠賀川 | 遠賀川 | 鶴三緒 | B | 1.6 | 1.7 | 51 | 大淀川 | 綾北川 | 入野橋 | A | 0.6 | 0.6 |
| 2 | 遠賀川 | 遠賀川 | 川島 | B | 1.5 | 1.9 | 52 | 大淀川 | 本庄川 | 綾南川橋 | A | 0.6 | 0.6 |
| 3 | 遠賀川 | 遠賀川 | 日の出橋 | B | 2.0 | 2.6 | 53 | 大淀川 | 本庄川 | 本庄橋 | A | 0.6 | 0.6 |
| 4 | 遠賀川 | 遠賀川 | 伊左座 | B | 2.2 | 2.9 | 54 | 大淀川 | 本庄川 | 柳瀬橋 | A | 0.7 | 0.8 |
| 5 | 遠賀川 | 遠賀川 | 芦屋 | B | 1.5 | 1.7 | 55 | 大淀川 | 深年川 | 太田原橋 | A | 0.7 | 0.7 |
| 6 | 遠賀川 | 穂波川 | 東町橋 | B | 1.4 | 1.5 | 56 | 大淀川 | 八重川 | 番所橋 | 未 | 2.5 | 4.2 |
| 7 | 遠賀川 | 彦山川 | 今任橋 | A | 1.1 | 1.0 | 57 | 肝属川 | 肝属川 | 朝日橋 | B | 2.0 | 2.1 |
| 8 | 遠賀川 | 彦山川 | 繻橋 | B | 2.2 | 2.3 | 58 | 肝属川 | 肝属川 | 河原田橋 | B | 2.3 | 2.8 |
| 9 | 遠賀川 | 彦山川 | 中島 | B | 2.4 | 2.7 | 59 | 肝属川 | 肝属川 | 俣瀬 | A | 1.6 | 1.6 |
| 10 | 遠賀川 | 金辺川 | 高木橋 | A | 1.8 | 2.0 | 60 | 肝属川 | 肝属川 | 第二有明橋 | A | 0.8 | 0.9 |
| 11 | 遠賀川 | 中元寺川 | 皆添橋 | B | 2.1 | 2.3 | 61 | 肝属川 | 下谷川 | 田崎橋 | 未 | 1.2 | 1.2 |
| 12 | 遠賀川 | 犬鳴川 | 春日橋 | B | 1.2 | 1.4 | 62 | 肝属川 | 始良川 | 始良橋 | 未 | 0.7 | <0.5 |
| 13 | 遠賀川 | 犬鳴川 | 粥田橋 | B | 1.4 | 1.7 | 63 | 肝属川 | 高山川 | 新前田橋 | 未 | 0.8 | <0.5 |
| 14 | 遠賀川 | 西川 | 島津橋 | B | 2.2 | 2.8 | 64 | 肝属川 | 串良川 | 串良橋 | A | 1.3 | 1.4 |
| 15 | 山国川 | 山国川 | 柿坂 | A | 0.9 | 1.0 | 65 | 川内川 | 川内川 | 亀沢橋 | A | 0.6 | 0.5 |
| 16 | 山国川 | 山国川 | 上曾木 | A | 0.9 | 1.1 | 66 | 川内川 | 川内川 | 栗野 | A | 0.7 | <0.5 |
| 17 | 山国川 | 山国川 | 下唐原 | A | 1.1 | 1.4 | 67 | 川内川 | 川内川 | 曾木大橋 | A | 0.6 | 0.7 |
| 18 | 山国川 | 山国川 | 下宮永 | A | 1.2 | 1.6 | 68 | 川内川 | 川内川 | 神子 | A | 0.7 | 0.9 |
| 19 | 山国川 | 山国川 | 山国橋 | A | 0.9 | 0.8 | 69 | 川内川 | 川内川 | 斧渕 | A | 0.7 | 0.9 |
| 20 | 山国川 | 山国川 | 小祝 | A | 1.2 | 1.2 | 70 | 川内川 | 川内川 | 中郷 | A | 0.6 | 0.7 |
| 21 | 山国川 | 中津川 | 北門橋 | 未 | 1.2 | 1.4 | 71 | 川内川 | 川内川 | 小倉 | A | 1.0 | 0.9 |
| 22 | 大分川 | 大分川 | 明礮橋 | A | 1.2 | 1.2 | 72 | 川内川 | 羽月川 | 花北 | 未 | 0.6 | <0.5 |
| 23 | 大分川 | 大分川 | 府内大橋 | A | 1.1 | 1.2 | 73 | 球磨川 | 球磨川 | 多良木 | A | 0.5 | <0.5 |
| 24 | 大分川 | 大分川 | 広瀬橋 | B | 1.4 | 1.7 | 74 | 球磨川 | 球磨川 | 人吉 | A | 0.5 | 0.5 |
| 25 | 大分川 | 大分川 | 弁天大橋 | B | 1.2 | 1.6 | 75 | 球磨川 | 球磨川 | 西瀬橋 | A | 0.6 | 0.5 |
| 26 | 大分川 | 七瀬川 | 光吉 | A | 0.9 | 0.8 | 76 | 球磨川 | 球磨川 | 天狗橋 | A | 0.6 | 0.6 |
| 27 | 大野川 | 大野川 | 白滝橋 | A | 0.9 | 1.1 | 77 | 球磨川 | 球磨川 | 横石 | A | 0.6 | 0.7 |
| 28 | 大野川 | 大野川 | 鶴崎橋 | A | 2.2 | 2.6 | 78 | 球磨川 | 球磨川 | 萩原橋 | A | 0.7 | 0.7 |
| 29 | 大野川 | 大野川 | 家島 | A | 1.2 | 1.5 | 79 | 球磨川 | 球磨川 | 金剛橋 | A | 0.7 | 0.9 |
| 30 | 大野川 | 乙津川 | 海原橋 | A | 1.4 | 1.6 | 80 | 球磨川 | 前川 | 前川橋 | A | 0.7 | 0.9 |
| 31 | 番匠川 | 番匠川 | 番匠橋 | A | 0.5 | <0.5 | 81 | 球磨川 | 川辺川 | 五木宮園 | AA | <0.5 | <0.5 |
| 32 | 番匠川 | 番匠川 | 水路橋 | A | 1.0 | 0.7 | 82 | 球磨川 | 川辺川 | 神屋敷 | AA | <0.5 | <0.5 |
| 33 | 番匠川 | 番匠川 | 番匠川河口 | A | 0.8 | 0.9 | 83 | 球磨川 | 川辺川 | 五木 | AA | <0.5 | <0.5 |
| 34 | 番匠川 | 堅田川 | 茶屋ヶ鼻橋 | A | 0.9 | 0.9 | 84 | 球磨川 | 川辺川 | 四浦 | A | <0.5 | <0.5 |
| 35 | 五ヶ瀬川 | 五ヶ瀬川 | 三輪 | A | 0.5 | 0.5 | 85 | 球磨川 | 川辺川 | 柳瀬 | A | <0.5 | <0.5 |
| 36 | 五ヶ瀬川 | 五ヶ瀬川 | 松山橋 | A | 0.5 | 0.5 | 86 | 球磨川 | 五木小川 | 元井谷 | 未 | <0.5 | <0.5 |
| 37 | 五ヶ瀬川 | 大瀬川 | 大瀬橋 | A | 0.5 | 0.5 | 87 | 緑川 | 緑川 | 中甲橋 | A | 0.8 | 1.0 |
| 38 | 五ヶ瀬川 | 祝子川 | 中州合流点 | A | 0.9 | 0.8 | 88 | 緑川 | 緑川 | 城南 | A | 1.4 | 1.9 |
| 39 | 五ヶ瀬川 | 北川 | 白石 | A | 0.6 | 0.5 | 89 | 緑川 | 緑川 | 上杉堰 | A | 1.3 | 1.6 |
| 40 | 小丸川 | 小丸川 | 高城橋 | AA | 0.6 | 0.6 | 90 | 緑川 | 緑川 | 平木橋 | B | 1.5 | 1.7 |
| 41 | 小丸川 | 小丸川 | 高鍋大橋 | A | 0.6 | 0.7 | 91 | 緑川 | 御船川 | 五庵橋 | A | 0.6 | 0.8 |
| 42 | 小丸川 | 宮田川 | 宮田川水門 | B | 1.0 | 1.0 | 92 | 緑川 | 加勢川 | 大六橋 | A | 1.3 | 1.4 |
| 43 | 大淀川 | 大淀川 | 岳下橋 | A | 1.8 | 2.1 | 93 | 緑川 | 浜戸川 | 大曲 | B | 1.5 | 1.8 |
| 44 | 大淀川 | 大淀川 | 志比田橋 | B | 1.7 | 2.1 | 94 | 白川 | 白川 | 小礮橋 | B | 0.9 | 1.2 |
| 45 | 大淀川 | 大淀川 | 乙房橋 | B | 1.5 | 1.7 | 95 | 白川 | 白川 | 代継橋 | B | 0.9 | 1.0 |
| 46 | 大淀川 | 大淀川 | 樋渡橋 | A | 1.0 | 1.4 | 96 | 白川 | 白川 | 小島橋 | B | 1.3 | 1.3 |
| 47 | 大淀川 | 大淀川 | 大ノ丸橋 | A | 1.2 | 1.4 | 97 | 菊池川 | 菊池川 | 広瀬 | A | 0.9 | 0.9 |
| 48 | 大淀川 | 大淀川 | 相生橋 | A | 0.9 | 0.9 | 98 | 菊池川 | 菊池川 | 中富 | A | 0.8 | 1.0 |
| 49 | 大淀川 | 大淀川 | 小戸之橋 | A | 0.7 | 0.7 | 99 | 菊池川 | 菊池川 | 山鹿 | A | 1.0 | 1.2 |
| 50 | 大淀川 | 年見川 | 宮丸橋 | A | 1.0 | 1.1 | 100 | 菊池川 | 菊池川 | 白石 | A | 1.6 | 1.3 |

注1) 報告下限値を0.5mg/lとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。

注2) 類型が未指定の地点は、類型を「未」と表示している。

注3) 「黄色塗り潰し」箇所は環境基準を満足していない地点である。

(河川) BOD(mg/l)

| 番号 | 水系名 | 河川名 | 地点名 | 平成25年 | | |
|-----|-----|------|---------|-------|------|------|
| | | | | 類型 | 平均値 | 75%値 |
| 101 | 菊池川 | 菊池川 | 高瀬 | A | 1.4 | 1.0 |
| 102 | 菊池川 | 迫間川 | 高田橋 | A | 0.8 | 1.0 |
| 103 | 菊池川 | 合志川 | 芦原 | A | 1.9 | 2.0 |
| 104 | 菊池川 | 岩野川 | 八幡 | 未 | 1.0 | 1.1 |
| 105 | 菊池川 | 繁根木川 | 永徳寺 | 未 | 1.2 | 1.0 |
| 106 | 矢部川 | 矢部川 | 船小屋 | A | 0.9 | 1.1 |
| 107 | 矢部川 | 矢部川 | 瀬高 | A | 1.9 | 2.8 |
| 108 | 矢部川 | 矢部川 | 浦島橋 | B | 1.2 | 1.3 |
| 109 | 矢部川 | 飯江川 | 古賀橋 | A | 1.6 | 1.8 |
| 110 | 矢部川 | 飯江川 | 丁字橋 | C | 1.6 | 2.0 |
| 111 | 筑後川 | 筑後川 | 杖立 | AA | 0.6 | 0.6 |
| 112 | 筑後川 | 筑後川 | 柚木 | A | 0.9 | 0.9 |
| 113 | 筑後川 | 筑後川 | 大山水辺プラザ | A | 0.9 | 1.0 |
| 114 | 筑後川 | 筑後川 | 大宮橋 | A | 0.8 | 0.8 |
| 115 | 筑後川 | 筑後川 | 三隈大橋 | A | 0.8 | 0.9 |
| 116 | 筑後川 | 筑後川 | 島内堰 | A | 0.7 | 0.8 |
| 117 | 筑後川 | 筑後川 | 川下 | A | 0.9 | 0.9 |
| 118 | 筑後川 | 筑後川 | 荒瀬 | A | 0.9 | 1.0 |
| 119 | 筑後川 | 筑後川 | 片ノ瀬 | A | 1.0 | 1.1 |
| 120 | 筑後川 | 筑後川 | 神代橋 | A | 1.0 | 1.1 |
| 121 | 筑後川 | 筑後川 | 瀬ノ下 | A | 1.5 | 2.0 |
| 122 | 筑後川 | 筑後川 | 六五郎橋 | B | 1.4 | 1.9 |
| 123 | 筑後川 | 玖珠川 | 小ヶ瀬 | A | 0.8 | 0.7 |
| 124 | 筑後川 | 宝満川 | 酒井東橋 | B | 1.8 | 1.6 |
| 125 | 嘉瀬川 | 嘉瀬川 | 官人橋 | A | 1.2 | 1.3 |
| 126 | 嘉瀬川 | 嘉瀬川 | 石井樋 | A | 1.2 | 1.1 |
| 127 | 嘉瀬川 | 嘉瀬川 | 嘉瀬橋 | A | 1.4 | 1.7 |
| 128 | 嘉瀬川 | 嘉瀬川 | 久保田橋 | D | 1.7 | 2.1 |
| 129 | 六角川 | 六角川 | 湖見橋 | A | 1.0 | 1.1 |
| 130 | 六角川 | 六角川 | 新橋 | D | 2.2 | 2.2 |
| 131 | 六角川 | 六角川 | 六角橋 | D | 1.1 | 1.2 |
| 132 | 六角川 | 六角川 | 住ノ江橋 | E | 1.8 | 2.2 |
| 133 | 六角川 | 牛津川 | 道祖元橋 | A | 0.8 | 0.8 |
| 134 | 六角川 | 牛津川 | 羽佐間堰 | C | 0.8 | 0.9 |
| 135 | 六角川 | 牛津川 | 砥川大橋 | D | 2.4 | 3.0 |
| 136 | 松浦川 | 松浦川 | 和田山橋 | A | 1.0 | 1.0 |
| 137 | 松浦川 | 松浦川 | 牟田部 | A | 1.0 | 1.0 |
| 138 | 松浦川 | 松浦川 | 久里橋 | A | 1.3 | 1.4 |
| 139 | 松浦川 | 松浦川 | 舞鶴橋 | A | 1.0 | 0.9 |
| 140 | 松浦川 | 厳木川 | 古川橋 | A | <0.5 | <0.5 |
| 141 | 松浦川 | 厳木川 | 観音橋 | A | 0.5 | <0.5 |
| 142 | 松浦川 | 厳木川 | 浦の川橋 | A | 0.7 | 0.8 |
| 143 | 松浦川 | 厳木川 | 厳木ダムK-1 | A | 0.9 | 0.8 |
| 144 | 松浦川 | 徳須恵川 | 徳須恵橋 | A | 1.0 | 1.1 |
| 145 | 本明川 | 本明川 | 鉄道橋 | A | 0.6 | 0.6 |
| 146 | 本明川 | 本明川 | 天満公園前 | B | 0.7 | 0.8 |
| 147 | 本明川 | 本明川 | 旭町 | B | 0.7 | 0.8 |
| 148 | 本明川 | 本明川 | 不知火 | B | 1.5 | 1.7 |
| 149 | 本明川 | 半造川 | 半造橋 | 未 | 2.0 | 2.3 |

(湖沼) COD(mg/l)

| 番号 | 水系名 | 河川名 | 地点名 | 平成25年 | | |
|-----|-----|-----|-------------|-------|-----|------|
| | | | | 類型 | 平均値 | 75%値 |
| 150 | 山国川 | 山移川 | 耶馬溪ダムYL-1 | 未 | 3.8 | 4.1 |
| 151 | 筑後川 | 津江川 | 下釜ダムS-1 | 未 | 1.8 | 1.8 |
| 152 | 川内川 | 川内川 | 鶴田ダムST-1 | A | 2.4 | 2.9 |
| 153 | 川内川 | 川内川 | 鶴田ダムST-III | A | 2.1 | 2.3 |
| 154 | 緑川 | 緑川 | 緑川ダムSt-2 | A | 1.7 | 2.0 |
| 155 | 菊池川 | 迫間川 | 竜門ダム(ダム基準点) | A | 1.6 | 1.6 |
| 156 | 菊池川 | 迫間川 | 竜門ダム(副基準点) | A | 1.8 | 2.0 |
| 157 | 筑後川 | 筑後川 | 松原ダムM-1 | A | 1.8 | 1.8 |
| 158 | 筑後川 | 筑後川 | 松原ダムM-3 | A | 1.8 | 1.8 |
| 159 | 筑後川 | 佐田川 | 寺内ダム | A | 1.8 | 1.9 |

(河川類型指定ダム貯水池) COD(mg/l)

| | 水系名 | 河川名 | 地点名 | 平成25年 | | |
|----|-----|-----|---------|-------|-----|------|
| | | | | 類型 | 平均値 | 75%値 |
| 参考 | 松浦川 | 厳木川 | 厳木ダムK-1 | A | 2.1 | 2.2 |

注1) 報告下限値を0.5mg/lとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。

注2) 類型が未指定の地点は、類型を「未」と表示している。

注3) 「黄色塗り潰し」箇所は環境基準を満足していない地点である。